

2016年8月1日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報第29号

オリンピック・パラリンピック期間中の邦人被害

1 邦人被害の強盗事件

7月30日午後6時頃、リオ市コパカバーナ海岸（アトランチカ大通り（AV. Atlantica）1800番地付近）の砂浜（海辺）で、日本人男性が、シャツの中にけん銃様のものを隠し持った様子を見せた男1名に脅され、所持していた現金240リアルを奪われた。

犯人はイパネマ方面に逃走したことから、被害者が近くにいたリオ市警察官に通報した。その後、同警察官と被害者との協力により犯人の特定に至り、犯人は現行犯逮捕され、盗まれた現金は被害者に還付された。

2 邦人被害の窃盗事件

7月31日午後11時頃、リオ市バッハ地区のレストランにおいて、邦人が、カバン（現金等在中）の盗難被害に遭った。邦人はグループで同レストランを訪れており、精算等のため、一瞬、椅子に掛けてあったカバンから目を離している間に持ち去られたもの。

【盗難被害に遭わないために】

- 自分の持ち物から決して目を離さないようにしましょう。
- スマートフォンが狙われています。カメラ、スマートフォンは、可能な限り人前での使用は避け、移動の際は、カバンやポケットに入れて持ち歩きましょう

【万が一強盗に遭ってしまったら】

万が一、強盗に遭ってしまった場合は以下の点に留意して下さい。また、警察（観光警察・21-2332-2924）に被害届を提出した上、総領事館までご連絡下さい。

- 決して抵抗せず、相手の要求に素直に従う
- 慌てず騒がず、冷静に対応する
- 相手に無断でポケットや懐には手を入れない
- 急な動作をしない。
- 相手の顔を直視しない（顔を覚えられたと受け止められる）

